

令和6年4月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 鈴木 亮 平

書記 亀山 侑 可

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日時 令和6年4月24日(水) 午後2時26分～午後3時26分

◆場所 塩竈市民交流センター 第2・3会議室

◆出席委員

教 育 長	黒 田 賢 一	教育長職務代理者	高 橋 輝 兆
委 員	松 田 攝 子	委 員	佐 藤 香
委 員	菅 井 信 吉		

◆事務局

教 育 部 長	末 永 量 太	次長兼教育総務課長	櫻 下 真 子
参事兼学校教育課長	松 崎 和 佳 子	生涯学習課長	郷 古 勝 浩
教 育 総 務 課	鈴 木 亮 平	教育総務課主事	亀 山 侑 可
課長補佐兼教育総務係長			

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長等報告
 - ①仙台管内教育長会議（4月11日）
 - ②県費負担教職員の人事異動集計
 - ③本市の教育活動の状況
 - ④その他
- 5 専決処分報告
 - ①塩竈市いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱について
 - ②塩竈市いじめ防止等対策委員会の委員の委嘱について
 - ③塩竈市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
- 6 その他報告
 - ①カメイこどもの夢づくり補助金の交付について
 - ②第二小学校愛鳥の森の復元に向けた取組について
 - ③学校規模の適正化等に向けた取組について
 - ④新規事業（国際交流・走る市政教室）について
- 7 閉会

1 開会 午後2時26分

2 前回会議録の承認

佐藤委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

高橋委員と松田委員を指名

4 教育長報告

黒田教育長から、以下のことについて報告

- ①仙台管内教育長会議（4月11日）
- ②県費負担教職員の人事異動集計
- ③本市の教育活動の状況
- ④その他

〔主な質疑〕

松田委員 仙台管内教育長会議の報告で教員不足についてお話があったが、学校現場での初任者教員に対する心のケアが大切だと思う。管理職や指導教員の先生が寄り添い、風通しの良い環境づくりを行い、手厚いサポート体制をつくってほしい。

黒田教育長 学校教育課長を中心に、学校と連絡を取りながら初任者教員に対するフォローを行っている。県教委福利課では、1、2年目の教員と、初めて異動を経験した教員に対するフォローアップ研修を行っている。塩竈市内の教員に対しては、我々が今後もフォローを行っていきたい。

菅井委員 みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業で、県からの予算が毎年90万ずつ減少しているとお話があったが、90万は全体の予算の中でどれくらいの割合を占めるのか。

学校教育課長 後日回答する。予算に関しては、毎年減少し、令和8年度にゼロになる。予算の確保について市で努力はしているが、県から新たな財源をいただかないと今の事業の継続は難しい。非常に重要な役割を担っているので、事業の継続方法について考えていかなければならない。

菅井委員 先月の定例教育委員会で、インフルエンザによる学級閉鎖の報告があったが、新学期になってから学級閉鎖はしているのか。

教育総務課長 学級閉鎖はない。

5 専決処分報告

松崎学校教育課長から、以下のことについて説明

- ①塩竈市いじめ問題対策連絡協議会の委員の委嘱について
- ②塩竈市いじめ防止等対策委員会の委員の委嘱について

郷古生涯学習課長から、以下のことについて説明

- ③塩竈市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

〔主な質疑〕

なし

6 その他報告

櫻下教育総務課長から、以下のことについて説明

- ①カメイこどもの夢づくり補助金の交付について
- ②第二小学校愛鳥の森の復元に向けた取組について

〔主な質疑〕

菅井委員 愛鳥の森の復元に向けた取組に関して、野外教室の下の崖で、過去に転落事故が発生したことがある。子供たちが休み時間にこの場所で遊ぶことを想定すると、安全面を第一に考えなければならない。慎重に整備を進めてほしい。

教育総務課長 当時は、用務員さんがその場にいたため目が行き届いていたと思う。整備を進めるにあたり、学校長とも相談の上、授業の一環として先生と子供たちが一緒に活動することを考えている。学校、PTA 役員等の意見も取り入れながら安全面に配慮して整備を進めたいと考えている。

松田委員 小学1年生の生活科の授業や、高学年の巣箱を作る工作の授業などで愛鳥の森のスペースを活用できると思う。子供

たちが授業の中で、安心安全な環境で楽しく活動が行える愛鳥の森にしていきたい。

菅井委員 カメイこどもの夢づくりの補助金に関して、進捗状況はいかがか。

教育総務課長 事前の意向調査の段階である。

菅井委員 子どもたちの夢づくりに繋がることに活用してほしい。

松崎学校教育課長から、以下のことについて説明

③学校規模の適正化等に向けた取組について

菅井委員 附属機関の設置について、定数が10名以内とあるが、人選はどのように行うのか。

学校教育課長 有識者の助言をいただきながら、校長会会長、PTA 代表者、学校運営協議会役員、幼稚園保育所等の関係者から人選を行う予定である。

教育部長 適正化に向けて、市民やPTA 役員の意見をいただき、再編を視野にいれその方向性を決める。複数案を提示し、幅広い意見をいただき議論を深めていきたい。

高橋委員 複数案から最適な選択肢を選べるようにするというのであれば、取組はいい方向に進むと思う。この取組が、学校規模の適正化に向けた第一歩となればよいと思う。我々も意見をあげていきたい。

佐藤委員 学校規模の適正化について、今年度も特別支援学級が増えている傾向がある。また、子供たちの現状をみると、個別最適な学びが行われ一斉に学ぶことが難しくなっている。クラス編成の考え方も変わってくると思うので、様々な素案が出てくるのが楽しみである。子供たちがいきいきと学ぶことができるよう、適正化の取組に関し意見を出していきたいと思う。

黒田教育長 進行状況については、定期的に報告させていただきたい。

郷古生涯学習課長から、以下のことについて説明

④新規事業（国際交流・走る市政教室）について

高橋委員 国際交流研修事業は、昨年度実施した韓国視察のような事業を想定しているのか。

生涯学習課長 そのとおりである。これまでは政策課主催で事業を行い、令和5年度は韓国、令和4年度は沖縄で研修を行った。3回目となる今年度は、生涯学習課主催で事業を実施する。

松田委員 研修場所はこれから選定するのか。

生涯学習課長 場所については、これから精査していく。

松田委員 「走る市政教室」について、地域の方々を対象に町内会単位で募集とあるが、児童生徒は対象となるのか。

「“何でも”体感団」について、対象は、市内の小学校に通う4～6年生の親子20組とあるが、体験活動毎に20組なのか、全体の体験活動で20組なのか、教えていただきたい。

生涯学習課長 「走る市政教室」については、今回モデルケースとして町内会単位で募集を行う。平日に実施することを予定しているので、児童生徒は対象にならない。

「“何でも”体感団」については、体験活動毎に20組を対象とする。

教育部長 「走る市政教室」は、高齢者の参加を見込んだ事業であり、今回は町内会単位で募集を行う。福祉部門ではなく生涯学習課で主催する事業であり、幅広い世代の方々に参加していただきたい。地域コミュニティが崩れている中で、おじいちゃんおばあちゃんが市の所有するバス等を活用し、市の施設を利用してお弁当を食べるなど、交流を通じた地域コミュニティの再生と参加者の生きがいの創出を図ることを目的としている。

菅井委員 「走る市政教室」のネーミングについて、固いイメージを持った。余暇を楽しむようなネーミングのほうが親しみやすいのでは。

教育部長 過去に宮城県で「走る県政教室」という事業を行っていたため、塩竈市版として「市政教室」という名前を使用した経過がある。まずはモデルケースとして実施し、いただいた意見をもとに、ネーミングについて今後柔軟に考えていきたい。

佐藤委員 「走る市政教室」を通し、参加した方々と子供たちに交流の機会が生まれ、地域コミュニティの再生に繋がることができればいいと思う。

7 閉会 午後3時26分

《会議録署名委員》

(高橋委員)

(松田委員)